科目名	社会調査法	授業形態	講義
英語科目名	Social survey method	開講学期	2022年度前期
対象学年	カリキュラムにより異なります。	単位数	2単位
代表教員	土屋　久	ナンバリング	4201
担当教員	土屋　久		

授業概要

全体内容	社会調査法は、社会科学の研究方法の一つであり、社会事象を実証的に捉えるための調査方法である。本講義では、社会調査士資格の取得を念頭におきつつ、社会調査法の歴史、目的、基本的な事項を学習し、その実際の手順を自己のものとしていく。それと同時に、単に方法 を学ぶだけでなく、社会に対する関心を高め、変動の激しい現代社会を理解するための感性を磨くことをその目的とする。授業は、講義と 簡単な実習を交えて進めていく。講義では、多くの具体的な事例を紹介する。
到達目標	・社会調査の基本を獲得できる。 ・社会調査士資格習得に向けた知識を獲得できる。 ・社会調査の基礎的な概念を習得することができる。 ・上記と関連して、社会調査の技法を用いて、社会事象を実証的に捉えることができる。
授業の位置づけ	展開科目（調査研究科目）
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	【関連するディプロマポリシー（DP）】 DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力 DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力 DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力
履修上の注意、履修要件	参考文献を授業期間内に読了すること。 社会調査協会のホームページを見ておくこと。

成績評価の方法

評価方法	課題 レポート・小テスト20%、学期末レポート70%、日々の学習状況10%を総合的に判断。
評価基準	社会調査に関する基本事項の理解ができているか。 レポートが社会調査の手法に基づいて書かれているか。

試験・課題等に対するフィードバック方法

課題やレポートは、毎授業時に狙いや解答例について解説をおこなう。

テキスト

参考文献

テキスト：使用しない。授業内にプリント配布。
参考書：①『新・社会調査へのアプローチ?論理と方法』ミネルヴァ書房
②『社会調査法入門』有斐閣
③『フィールドワーク 書を持って街に出よう』新曜社
④『質的社会調査の方法』有斐閣

その他

連絡先・オフィスアワー	授業の前後とする。
担当教員の実務経験	
備考	

授業計画

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	土屋久	履修にあたっての諸注意(授業の進め方、評価の方法、勉強の仕方等) 社会調査の概略	講義	【予習】シラバスをよく見てくること。（90分） 【復習】講義内でわたしたプリントを見直しておくこと。講義で扱う内容をよく検討しておくこと。（90分）
2	土屋久	社会調査とは何か？（その目的や意義等）	講義	【予習】ギャラップなどの世論調査について調べてくること。（90分） 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと（90分）
3	土屋久	社会調査の歴史、社会調査は何を課題としてきたのか	講義	【予習】中学・高校で学習した18世紀以降の歴史を、大雑把で構わないので、見直してお

				くこと。（90分） 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと。（90分）
4	土屋久	社会調査の種類	講義	【予習】ネットで構わないので、「〇〇調査」と名前のつくものを5つ以上調べておくこと。（90分） 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと。（90分）
5	土屋久	社会調査の基本と必要とする道具	講義	【予習】レイチェル・カーソンの『センス・オブ・ワンダー』という著作に目を通しておくこと。（90分） 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと。（90分）
6	土屋久	量的調査と質的調査	講義	【予習】統計について、中学・高校で学習した内容を復習しておくこと。（90分） 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと。（90分）
7	土屋久	調査票調査の概要	講義	【予習】現代社会の事象について、興味あることを3つ以上調べてくること。（90分） 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと。（90分）
8	土屋久	調査票調査とその具体的な手法Ⅰ	講義	【予習】前回の講義で配布したレジュメに目を通し、調査したい内容を考えておくこと。（90分） 【復習講義】講義の内容をよく復習しておくこと。（90分）
9	土屋久	調査票調査とその具体的な手法Ⅱ	講義	【予習】前回の講義で配布したレジュメに目を通し、調査票を作成しておくこと。（90分） 【復習】講義内容をよく復習し、調査票の修正をおこなっておくこと。（90分）
10	土屋久	フィールドワークとは？	講義	【予習】指定された文献に目を通しておくこと。（90分） 【復習】講義の内容をよく復習し、指定された課題に答えること。（90分）
11	土屋久	参与観察とは？	講義	【予習】指定された文献に目を通しておくこと。（90分） 【復習】講義の内容をよく復習し、出された課題にこたえること。（90分）
12	土屋久	生活史とは？	講義	【予習】自身のライフヒストリーを書いておくこと。（90分） 【復習】授業を聞いて、自身のライフヒストリーを点検すること。（90分）
13	土屋久	社会調査の文献を読む（『忘れられた日本人』『暴走族のエスノグラフィー』『リハビリの夜』を予定）	講義	【予習】指定された文献を読んでおくこと。（90分） 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと。（90分）
14	土屋久	調査における倫理的な問題、レポートの書き方など	講義	【予習】自身が書くレポートの対象となる人物を選んでおくこと。（90分） 【復習】講義の内容をよく復習しておくこと。（90分）

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	量的調査演習	授業形態	講義
英語科目名	Quantitative Research Methods	開講学期	2022年度後期
対象学年	2年	単位数	2単位
代表教員	野田 愛	ナンバリング	4202
担当教員	野田 愛		

授業概要

全体内容	本講義では、量的調査を重点として、社会調査の目的・方法について学ぶ。量的調査、量的分析を通して、ロジカルシンキングのエッセンスを習得することを目的とする。EXCELをはじめとしたデータベース管理ソフトを用いた演習により調査データの整理等について学習する。
到達目標	1. 社会調査とは何かを他者に説明できる。 2. データ管理、調査票作成の基本的知識ついて他者に説明できる。 3. 量的データの基礎的集計、分析ができる。
授業の位置づけ	展開科目（調査研究科目）
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	【関連するディプロマポリシー（DP）】 DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力 DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力 DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力
履修上の注意、履修要件	1. 履修希望者が多すぎる場合には適切な授業運営上抽選をすることがある。 2. 本授業の内容は『質的（フィールド）調査演習』と連動する部分が多いため、履修希望者は本授業と合わせて『質的（フィールド）調査演習』を履修することを強く推奨する。 3. 本授業はエクセルとSASを授業中に使用する。特にエクセルについては予習・復習課題をこなす上で積極的に使用することが求められる。 4. 学生の理解度により授業内容や授業構成が変更されることがある。またコロナウィルス対応の点から大幅な変更を行う可能性がある。このことをあらかじめ知っておくこと。

成績評価の方法

評価方法	授業への出席50%、授業内課題40%、期末試験10％から評価する。
評価基準	1. 社会調査について説明できるか。 2. データ管理、調査票作成の基本的知識ついて説明できるか。 3. 量的データの基礎的集計、分析ができるか。

試験・課題等に対するフィードバック方法

J-passのクラスプロファイル機能を使用して行う。その他の場合には、授業内で指示する。

テキスト

社会調査法（第4版）：2ステップで基礎から学ぶ	轟 亮 (著, 編集), 杉野 勇 (著, 編集), 平沢 和司 (著, 編集), 小林 大祐 (著), 田渕 六郎 (著), 歸山 亜紀 (著), 俵 希實 (著)	法律文化社	978-4-589-04141-8	
社会調査の基礎ー社会調査士A/B/C/D科目対応	篠原 清夫 (編集), 榎本 環 (編集), 大矢根 淳 (編集), 清水 強志 (編集)	弘文堂	978-4-335-55133-8	

参考文献

追加資料は授業で配布する。

その他

連絡先・オフィスアワー	メールでアポイントメントをとること。
担当教員の実務経験	
備考	

授業計画

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1: 2022/10/3	野田　愛	社会調査の目的・方法について概説	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】社会調査とは何かを調べておくこと（90分程度）

				【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
2: 2022/10/17	野田　愛	社会調査の企画・設計（仮説構成を含む）について概説	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
3: 2022/10/24	伊藤　弘明（医学部衛生学・公衆衛生学講座）	サンプリング①　全数調査と標本調査	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。（90分程度） 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
4: 2022/10/31	黒澤 美智子（医学部衛生学・公衆衛生学講座）	サンプリング②　無作為標本について（標本分布・誤差）	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
5: 2022/11/7	伊藤　弘明（医学部衛生学・公衆衛生学講座）	サンプリング③　サンプルサイズの計算	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
6: 2022/11/14	遠藤　源樹（医学部衛生学・公衆衛生学講座）	調査票の作り方	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
7: 2022/11/21	遠藤　源樹（医学部衛生学・公衆衛生学講座）	質問文の作り方	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
8: 2022/11/28	野田　愛	選択肢の作り方	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
9: 2022/12/5	黒澤 美智子（医学部衛生学・公衆衛生学講座）	調査の実施方法　（配布・回収方法を含む）	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
10: 2022/12/12	友岡　清秀（医学部衛生学・公衆衛生学講座）	調査データセットの作成（コーディング等の演習）	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
11: 2022/12/19	友岡　清秀（医学部衛生学・公衆衛生学講座）	調査データセットの整理（データクリーニング等の演習）	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
12: 2022/12/26	友岡　清秀（医学部衛生学・公衆衛生学講座）	調査データの基礎集計・分析方法	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
13: 2023/1/16	浦川　加代子（国際医療福祉大学）	フィールドワーク、インタビュー調査の技法	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
14: 2023/1/23	野田　愛	総合（まとめ）	講義、グループワーク、デイスカッション	【予習】直前の授業で指示する。予習課題所要時間は90分程度をみておくこと。 【復習】授業内で指示する（課題所要時間は90分程度）
15	野田　愛	期末試験		

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	質的（フィールド）調査演習	授業形態	演習
英語科目名	Applied Qualitative Reasearch Methods	開講学期	2022年度後期
対象学年	2年	単位数	2単位
代表教員	太田 有子	ナンバリング	4203
担当教員	太田 有子		

授業概要

全体内容	本授業科目は、国際教養学部の調査研究科目として質的調査の主な方法を学び、実践することを目的としている。本授業の前半では、質的調査の主な分析方法を学び、後半では実習として調査を実施し、地域コミュニティの現状の分析を行い、授業で報告することを課題とする。質的調査の方法を実践する経験を持つことで、今後の各領域の専門教育科目および演習科目の学修につなげる。
到達目標	1. 質的調査の主要な方法の特徴について理解する。 2. 質的調査の方法を用いて、特定の事象を分析することができる。
授業の位置づけ	展開科目（調査研究科目）
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	【関連するディプロマポリシー（DP）】 DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力 DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力 DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力
履修上の注意、履修要件	1. 授業計画・実習の実施形態については、感染症ならびに履修学生の状況に応じて変更の可能性があります。 2. 本授業は、後半で実習として調査を行うため授業定員を設けます。履修登録学生数が授業定員を超えた場合には抽選を行います。 3. 学生の皆さんには、課題について主体的に取り組み、クラスメートと協力して一緒に学ぶ姿勢を持つことを期待します。

成績評価の方法

評価方法	出席　30　%　　グループ研究　30%　　最終レポート　40%
評価基準	質的調査の方法について理解し、実際に質的調査の方法を用いて分析を行うことができる。

試験・課題等に対するフィードバック方法

授業ならびにJ-Passport を通じて行う。

テキスト

参考文献

【参考書】谷富夫・芦田徹郎 編．2009．「よくわかる質的調査（技法編）」ミネルヴァ書房．
課題文献については、授業で指示する。

その他

連絡先・オフィスアワー	オフィスアワー　（後期）　木　16:30～17:00
担当教員の実務経験	
備考	

授業計画

授業回	担当者	授業内容	授業方法 ※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	太田 有子	質的調査とは		【予習】シラバスを参照し、授業目的について理解する。 【復習】質的調査の特徴・目的の概要について理解する。
2	太田 有子	質的調査の発展　学術的背景		【予習】社会調査の実例について調べる。（90分） 【復習】質的調査の特徴、量的調査との相違点についてまとめる。（90分）
3	太田 有子	質的調査における調査倫理		【予習】課題文献を参照し、社会調査の基本的姿勢・倫理をまとめる。（90分） 【復習】質的調査の実施において特に重要な事項をまとめる。（90分）
4	太田 有子	フィールドワーク　1　目的・方法		【予習】文献を参照し、フィールドワークの目的を理解する。（90分）

				【復習】授業資料・文献を参照し、フィールドワークの特徴をまとめる。（90分）
5	太田 有子	フィールドワーク　2　実施準備・フィールドノート　〈研究例の紹介〉		【予習】課題文献（研究例）を参照し、調査を通じて明らかになったことをまとめる。（90分） 【復習】授業資料を参照し、フィールド調査の準備のプロセスをまとめる。（90分）
6	太田 有子	インタビュー　1　目的・種類・方法		【予習】文献を参照し、インタビュー調査の目的を理解する。（90分） 【復習】授業資料・文献を参照し、インタビュー調査の特徴・方法をまとめる。（90分）
7	太田 有子	インタビュー 2　設計（対象・質問項目の検討）・データ分析・コーディング		【予習】課題文献（研究例）において調査を通じて明らかになったことをまとめる。（90分） 【復習】授業資料を参照し、インタビュー調査の設計上、必要な項目をまとめる。（90分）
8	太田 有子	参与観察		【予習】文献を参照し、参与観察の目的を理解する。（90分） 【復習】授業資料・文献を参照し、参与観察の特徴・方法をまとめる。調査対象事例（候補）を検討する。（90分）
9	太田 有子	【実習】 調査計画の検討・ガイドライン（調査倫理）確認		【予習】質的調査を用いた調査計画（案）を作成する。（90分） 【復習】質的調査の実施において特に重要な事項をまとめる。（90分）
10	太田 有子	【実習】 フィールドワーク準備 調査対象の選定、インタビュー準備 対象・質問項目の検討		《課題》 フィールドワーク・インタビュー調査の実施 【予習】調査計画、調査対象事例・質問項目を検討する。（90分） 【復習】インタビュー調査を行う。（90分）
11	太田 有子	【実習】 データの分析		【予習】インタビュー調査のデータを分析する。（90分） 【復習】データ分析の結果をまとめる。（90分）
12	太田 有子	【実習】 フィールドワーク　学生報告　1		【予習】調査結果の報告準備を行う。（90分） 【復習】フィードバックを参考に課題についてまとめる。（90分）
13	太田 有子	【実習】 フィールドワーク　学生報告　　2		【予習】調査結果の報告準備を行う。（90分） 【復習】授業におけるフィードバック、ディスカッションを参考に課題についてまとめる。（90分）
14	太田 有子	【実習】 検討課題（今後の調査に向けた検討）		【予習】今後の再調査を行うことを想定した場合の改善・補足事項を挙げる。（90分） 【復習】再調査に向けた提案をまとめる。（90分）
15	太田 有子	まとめ		【予習】グループ調査のレポート作成準備を行う。（90分） 【復習】レポートを作成する。（90分）

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）